

オリエンテーション

J R 在来線をめぐる最近の動き

ダイヤ改正の概要（令和3年）

令和3（2021）年3月改正

路線名	区間	取り止め本数	備考
山陽本線 [14本]	和気～瀬戸	下り5本、上り5本	このほか、上下22本について土休日の運転取り止め（サンライナー13本を含む）
	岡山～糸崎	下り1本、上り1本	
	糸崎～福山	下り1本、上り1本	
赤穂線 [10本]	長船～西大寺	下り5本、上り5本	

令和3（2021）年10月改正

路線名	区間	取り止め本数	備考
山陽本線 [5本]	サンライナー	下り2本	
	岡山～福山	上り2本	
	岡山～倉敷	下り1本	最終取り止め（下り）
瀬戸大橋線 [1本]	岡山～茶屋町	下り1本	
津山線 [4本]	金川～岡山	下り1本、上り1本	
	津山～岡山	下り1本、上り1本	
桃太郎線 [2本]	岡山～総社	下り1本、上り1本	
因美線 [2本]	美作加茂～津山	下り1本、上り1本	

ダイヤ改正の概要（令和4年）

令和4（2022）年3月改正

路線名	区間	取り止め本数	備考
山陽本線 [40本]	快速サンライナー	下り8本、上り7本	サンライナー廃止
	岡山～福山	下り6本、上り6本	始発取り止め（下り）
	和気～岡山	下り1本	始発取り止め（下り）
	吉永～岡山	下り1本、上り1本	
	三石～岡山	上り1本	最終取り止め（上り）
	金光～福山	下り4本、上り4本	金光折り返し
	東福山～福山	下り1本	東福山止め
伯備線 [2本]	岡山～備中高梁	下り1本、上り1本	最終（下り）始発（上り）取止め
赤穂線 [2本]	長船～岡山	下り1本	
	備前片上～岡山	上り1本	最終取り止め（上り）
津山線 [3本]	野々口～岡山	下り1本	
	法界院～岡山	下り1本、上り1本	
本四備讃線 [2本]	マリンライナー	下り1本、上り1本	最終取り止め（上下）

※この他、特急やくも上下30本のうち6本を臨時列車化（運転日を週末・休日等に限定）

駅のサービス提供体制の見直し

JR西日本では、人口減少による労働力不足などを背景として、駅の体制変更を進めている。

駅の無人化

年度	無人化	駅名
H30	1 駅	伊部
R元	5 駅	熊山、万富、上道、里庄、日生
R2	4 駅	西阿知、鴨方、早島、清音
R3	8 駅	庭瀬、金光、備前西市、備中高松、法界院、金川、邑久、長船

＜無人化に併せた対応＞

- ・非対面サービスを拡大（ICOCA、Ma a Sアプリ（Setowa、WESTERなど）、チケットレスサービス（e5489など）、遅延証明書の電子化など）
- ・駅係員を「拠点駅」に集約し、周辺駅を巡回して乗客のサポートを実施する体制へ移行



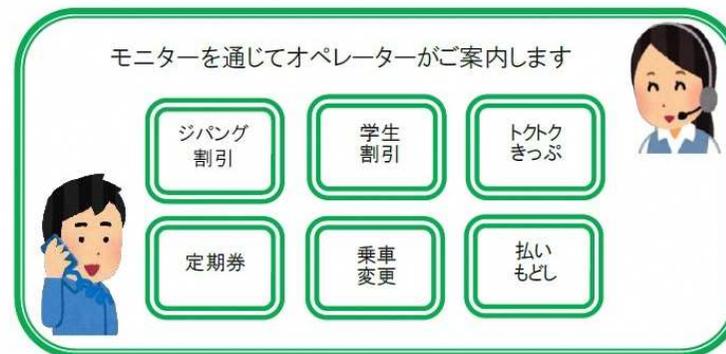
駅係員による巡回のイメージ
（JR西日本プレスリリースより）

駅のサービス提供体制の見直し

「みどりの窓口」の廃止

年度	窓口廃止	廃止後の対応
H29	1 駅	・高機能券売機の導入… 1 駅（庭瀬）
H30	4 駅	・高機能券売機の導入… 4 駅（和気、瀬戸、宇野、伊部）
R元	6 駅	・高機能券売機の導入… 1 駅（茶屋町） ・代替措置なし … 5 駅（熊山、万富、上道、里庄、日生）
R2	6 駅	・高機能券売機の導入… 4 駅（西阿知、鴨方、総社、備中高梁） ・代替措置なし … 2 駅（早島、清音）
R3	9 駅	・高機能券売機の導入… 3 駅（中庄、妹尾、西大寺） ・代替措置なし … 6 駅（金光、備中高松、邑久、長船、法界院、金川）

※西阿知駅及び鴨方駅は「みどりの券売機」、その他の駅は「みどりの券売機プラス」を導入



「みどりの券売機プラス」のイメージ
(JR西日本プレスリリースより)

利用者数の少ない路線への対応

○令和4年2月14日

国土交通省が、危機的な状況にある鉄道路線に対する具体的方策を検討するための有識者検討会「鉄道事業者と地域の協働による地域モビリティの刷新に関する検討会」を設置（同日第1回検討会）

○令和4年2月16日

JR西日本が、社長会見において、2019年度実績ベースで輸送密度が2,000人未満の線区について、見直しに着手することを発表

○令和4年4月11日

JR西日本が、輸送密度2,000人未満の線区について、収支率などを公表（岡山県内では、姫新線、因美線、芸備線の3路線5区間が該当）

○令和4年7月25日

国有識者検討会が、「地域の将来と利用者の視点に立ったローカル鉄道の在り方に関する提言」を公表

参考：国有識者検討会の提言内容

地域の将来と利用者の視点に立った
ローカル鉄道の在り方に関する提言
～地域戦略の中でどう活かし、どう刷新するか～



令和4年7月

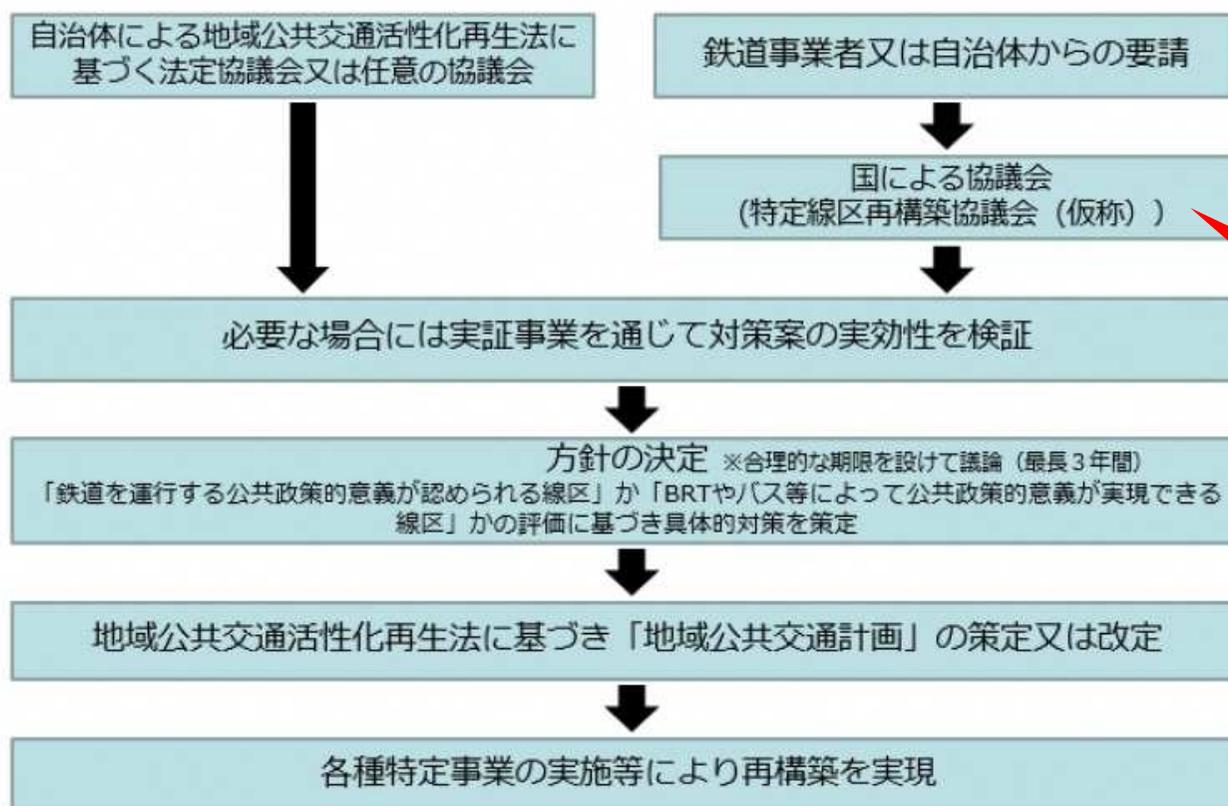
鉄道事業者と地域の協働による
地域モビリティの刷新に関する検討会

参考：国有識者検討会の提言内容

VI 今後取り組むべき方向性（抜粋）

危機的状況にあるローカル鉄道について、単なる現状維持ではなく、真に地域の発展に貢献し、利用者から感謝され、利用してもらえる、人口減少時代に相応しい、コンパクトでしなやかな地域公共交通に再構築していくことが必要である。その際には、国・地方自治体・交通事業者が上記の役割分担を踏まえて、協力・協働しながら取り組んでいくことが不可欠である。

（参考）フロー図（再構築の取り組み）



設置の目安

- 平常時の輸送密度が1,000人を下回っていること
（ただし、隣接する駅の間において一方向に係る1時間当たりの最大旅客輸送人員が500人未満）
- 関係者の合意形成にあたって広域的な調整が必要

利用者数の少ない路線への対応（芸備線）

令和3年6月 JR西日本から、岡山県・新見市・広島県・庄原市へ申入れ

「鉄道の課題を踏まえた地域公共交通の見直し等に向けた、検討の場の設定または参加」

- ・対象区域 芸備線庄原市～新見市内の駅と沿線地域
- ・検討内容 ①地域の現状、公共交通の概況、利用状況、移動特性、ニーズ等の把握
②芸備線の利用促進



令和3年8月に「**芸備線 庄原市・新見市エリアの利用促進等に関する検討会議**」を設置し、これまで4回にわたって、芸備線の利用促進について議論を行っている。

構成団体		検討会議（委員）	事務局・実務担当
県	岡山県	県民生活部長	県民生活交通課
	広島県	地域政策局長	公共交通活性化担当
沿線市	新見市	副市長	交通対策課
	庄原市	事務担当副市長	市民生活課、いちばんづくり課
JR西日本	岡山支社	副支社長	企画課
	広島支社	副支社長	企画課

岡山県 J R 在来線利用促進検討協議会について

岡山県 J R 在来線利用促進検討協議会について

<名 称> 岡山県 J R 在来線利用促進検討協議会

<設立日> 令和4年7月25日

※それまで実施していた県・市町村・JRの担当者連絡会議を格上げ

<構 成>

区 分	役 職
会員	岡山県県民生活交通課長
	各市町村交通政策担当課長
	JR西日本岡山支社企画課長
オブザーバー	各県民局地域づくり推進課長 市長会 町村会

※オブザーバーは必要に応じて追加

- <事 業>
- J R 在来線に係る調査・研究に関すること
 - J R 在来線の利用促進に関すること
 - その他、協議会の目的を達成するために必要なこと

岡山県 J R 在来線利用促進検討協議会について

